

桜堤コミュニティセンター開館10周年によせて



武蔵野市議会議員

榎本重夫

桜堤コミュニティセンター開館10周年おめでとうございます。

広大な小金井公園に隣接し、武蔵野の面影をそのまま残すこの場所に市内11番目のコミュニティセンターとして当センターがオープンしたのが、昭和57年4月でした。

当センターはこじんまりとした建物ですが児童遊園地と一体化した施設は、当時としては市内初めてのもので、明るく開放的で、誰でも気軽に利用できるセンターとして話題になったものです。

当センターの開館に至るまでには色々な経過があり、地域の皆様方が従来の集会所を建て替えて

ほしいと、議会にも請願が出されたことを記憶しています。

当地域は、小金井市、田無市、保谷市の三市に囲まれた市の境界に位置しますが、皆様方の熱心な運動により出来上がった当センターが、地元の皆様方の文化交流の拠点として有効に活用されていることは喜びに耐えません。

新しい地域文化の花を咲かせる核として当センターの重要性は今後益々高まることでしょう。

最後に、当センターのご隆盛と皆様方のご健勝ならびに当地域のご発展を心よりご祈念申し上げます。私のお祝いの言葉といたします。



都議会議員

新実信正

桜堤コミュニティセンター開設10周年記念式典おめでとうございます。

今この原稿を書き乍ら、「もう10年経ったのかな！早いものだな！」とつくづく考えています。「光陰矢の如し」とは良く云ったものだと感じています。

私がまだ市会議員で、市長は藤元さんの時でしたが、丸山さん、宮島さん等を先頭に三丁目の人達で八幡町コミセン、東町コミセンなどを視察して廻ったり、市議会に請願したり議会傍聴に出かけたりして皆で話し合い、皆で力を合わせてこのコミセン作りに励みましたのは、つい昨日の様であります。当時、三丁目の連合町内会に木造の集会所が南側にあり、お祭りや盆踊り用の用具

も格納出来、その上多種多様の使い方で本当の意味の町内会のシンボルとして、又町内会の皆様方の心の拠り所として存在していました。しかし古くなり、建替の必要性が生まれていました。

その集会所をコミセンとして北側に移し、鉄筋に建替え、事務の人をおいて、お年寄りから若い人まで常に利用出来、集会、葬式、会合、勉強会、趣味の会等が開かれたり、又こゝに来れば、顔を知った事務の方が居て話し合いが出来、地域の皆さんの触れ合いの場、生活の拠り所と今ではなっています。それに運営委員の皆さんのボランティア精神によって支えられ、民主々義の勉強の場にもなっています。増々地域の人の為のコミセンに成長、発展されることをお祈り申し上げます。